

評価表(評価項目一覧表)

評価項目	評価基準(視点)	配点	技術提案書作成にあたっての留意事項
1. 社としての経験・能力等		10	業務を受注した際に適切かつ円滑な業務が実施できることを証明するために参考となる、応募者の社としての類似業務の経験、所有している資格等について、記載願います。
(1) 類似業務の経験	<ul style="list-style-type: none"> 類似業務については実施件数のみならず、業務の分野(内容)と形態、発注業務との関連性に鑑み総合的に評価する。特に評価する類似案件としては、JICA関西と同規模のLANの設計構築および運用保守業務とする。 過去10年までの類似案件を対象とし、より最近のものに対し高い評価を与える。 	5	当該業務に最も類似すると思われる実績(5件以内)を選び、その業務内容(事業内容、サービスの種類、業務規模等)や類似点を記載ください。特に、何が当該業務の実施に有用なのか簡潔に記述してください。
(2) 資格・認証等①	<ul style="list-style-type: none"> 以下の資格・認証を有している場合評価する。 マネジメントに関する資格(ISO9001等) ITサービスマネジメント等に関する国際規格 情報セキュリティに関する資格・認証(ISO27001/ISMS、プライバシーマーク等) 	4	資格・認証を有する場合はその証明書の写しを提出願います。
(2) 資格・認証等②	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」または「プラチナえるぼし認定」 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」または「プラチナくるみん認定」 若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定」 その他、本業務に関すると思われる資格・認証 	1	
2. 業務の実施方針等		60	
(1) 調達概要の理解	<p>1. 調達要件及びプロジェクト推進方針</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調達範囲の正しい理解と調達内容を踏まえたプロジェクト業務範囲を明確に示し、以下の項目を含むプロジェクト推進方針を提示すること。 1. 個別管理組織及び事業者の体制と役割 2. スケジュール 3. 成果品 4. 制約条件および前提条件 5. 進捗管理要領 6. リスク管理要領 7. 情報セキュリティ管理要領 8. 課題管理要領 9. 品質管理要領 10. 人的資源管理要領 11. コミュニケーション管理要領 12. 文書管理要領 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本仕様書に明示的な記載のない事項で、備えるべき事項が提案されていれば加点。 	4	本業務の目的を踏まえた業務範囲とプロジェクト推進方針が記載されていること。また、仕様書の記載内容に対して相違がないこと。本プロジェクトの推進方針として、業務スコープが具体的に示され、JICA関西にとって有益な業務支援内容が示されていること。
	<p>2. その他調達要件</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本仕様書「3.1.2 調達範囲」、「図表3.1.2 調達対象機器、および要件」に記載された基本要件事項を満たしていることを示すこと。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存環境からの切替において、利用者影響や移行方式の点で優位性のある製品であることが示されていれば加点。 導入するインターネット回線やFireWallの品質が本仕様書の要件よりも高いことが示されていれば加点。 導入する無線LANアクセスポイント製品やスイッチ製品の品質が本仕様書の要件よりも高いことが示されていれば加点。 	4	LAN環境の導入において、本仕様書の要件を満たした通信用ハードウェア及び、インターネット環境(一式)を調達することを示すこと。
	<p>3. 機器賃貸借</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクト内容を踏まえ、機器・ソフトウェア賃貸借に係る基本方針を示すこと。 導入機器・ソフトウェア一式は5年間の賃貸借契約にて提供し、賃貸借契約の延長が可能なこと。 賃貸借の対象と備品などの売り切りの機器、備品を明確に示すこと。 賃貸借契約の条件を明確に示すこと。特に契約の延長条件や、導入機器、備品の撤去作業の条件が含まれていること。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約の延長条件や、導入機器、備品の撤去作業の条件がJICA関西にとって経済的に有益であることが示されていれば加点。 	4	本プロジェクト内容を踏まえ、機器・ソフトウェア賃貸借に係る基本方針を示すこと。

評価項目	評価基準(視点)	配点	技術提案書作成にあたっての留意事項
	<p>4.拡張要件</p> <p>【必須要素】 レイアウト変更や利用エリアの増減などが生じた場合に対応可能となるように、拡張性を考慮した内容であることを示すこと。</p> <p>【加点要素】 ・本仕様書に明示的な記載のない事項で、追加見積もり対象とすべき事項が示されており、その事項が追加費用を伴うべき作業であることが判断できる場合は加点。 ・JICA関西にとって経済的に有益な内容であると判断できるものであれば加点。</p>	2	
(2)スケジュールの妥当性	<p>1.スケジュール</p> <p>【加点要素】 ・提示されたスケジュールにおいて、実施するタスクや関係者の業務デマケーションが明確に示されており、そのスケジュールの実行性が高く評価できるほど加点。 ・特に提示される新旧切替スケジュール案において、多くのリスク回避対策を想定した工程であり、そのサポート体制が手厚い提案は高く評価する。 ・プロジェクト実施中に致命的な遅延が発生し予定通りのスケジュール達成が困難となった場合に、プロジェクト期間の延長など柔軟な対応が可能であり、且つその対応が経済的でありプロジェクト品質が悪化しないと判断できる場合は加点。</p>	4	本仕様書スケジュール要件を踏まえ、完了可能なスケジュールが示されており、且つそのスケジュールが予め想定される作業リスクについて十分に考慮されていること。
(3)実施体制	<p>1.環境構築時のプロジェクト体制</p> <p>【必須要素】 ・本プロジェクトを実施する受託時の体制を示すこと。外部委託事業者、協力会社が含まれる場合はその旨を示すこと。 ・JICA関西の各関係者と調整を行うことを前提とし、本プロジェクトを実施する適切な体制が示されていること。 ・LAN導入に係る他事業者との調整について円滑な調整が実施できるように十分な支援を行う姿勢を示し、必要に応じて他事業者との打ち合わせにも参加することが明記されていること。</p> <p>【加点要素】 ・本業務にて実施する体制、関係者間の業務デマケーション等が具体的に示され、その内容が効率的かつ本プロジェクトに有効であると判断できる場合は加点。</p>	4	本プロジェクトの実施にあたって、適切な推進体制を提案し、各チームの役割や業務従事者を具体的に示すこと。
(4)プロジェクト管理、推進手法	<p>1.プロジェクト管理</p> <p>【必須要素】 ・本仕様書「4.2プロジェクト管理業務」に記載されている管理業務について実施することを示すこと。</p> <p>【加点要素】 ・本プロジェクトの関わりが想定される関係事業者との体制(協力、支援関係等)を考慮するとともに、事業者の経験/知見を活かし、プロジェクトの完遂を目標とした具体的なプロジェクト実施方法が提案されている場合は加点。</p>	4	本仕様書4.2「プロジェクト管理業務」に示される要件に基づき、本プロジェクトの特性を踏まえた管理方法を示すこと。
(5)成果品の管理手法	<p>1.成果品の管理</p> <p>【必須要素】 ・本仕様書「4.10納入成果品」に示す要件を満たすこと。</p>	2	仕様書に記載された成果物が納品されることを示すこと。 プロジェクトの進捗に応じた成果物の位置付けや記載内容が具体的に示されており、プロジェクトに有効であることが判断できること。

評価項目	評価基準(視点)	配点	技術提案書作成にあたっての留意事項
(6)環境設計,構築	<p>1.LAN環境の設計,構築</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書「3.LAN更改仕様」に記載された要件を含む設計、構築方針を示すこと。 ・本仕様書に示されていない作業においてもLAN環境構築に必要な作業はJICA関西と調整の上、実施すること。 ・利用者にとって扱いやすく、セキュリティが確保されていること。 ・スイッチや無線LANアクセスポイントの設計場所設計および設置場所設計プロセスが適切であると判断できること。 ・エリア内の有線LAN配線やアクセスポイントの増設や拡張性を考慮した設計方針を示すこと。 ・設計、構築にあたって関係部署および関係事業者と設計内容、作業工程の調整を十分に行なうことが示されていること。 ・ケーブル類の具体的な結束方式や配線方法を提示すること。 ・VLAN体系やIPアドレスは、原則として現行設計を踏襲すること。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークループなどLAN環境利用者の誤操作で発生しうる障害を未然に防ぐための工夫や、発生時に自動復旧する仕組みを導入するなど対応策が示されている場合は加点。 ・無線LANアクセスポイントの集中コントロールや、端末の接続可否制御などの運用性を考慮した構成である場合は加点。 ・構築作業において、作業内容が明確にされており、リスクとなるポイントや対応策が示された提案の場合は加点。 ・構築や切替作業におけるLAN環境利用者への影響を最小化するための工夫が示されている場合は加点。 ・LAN敷設の整備について運用性、利便性、耐障害性を考慮した具体的かつ工夫のある設定、構築方針が示されている場合は加点。 	10	本仕様書「3.LAN更改仕様」に記載された要件を含む設計、構築方針を示すこと。
(7)テスト計画の評価	<p>1.テスト計画の策定とテストの実施</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトの内容を踏まえ、テスト作業に係る作業方針を示すこと。 ・テスト実施フェーズの実施手法及び本フェーズの成果物となる「テスト実施計画書」の提示を示すこと。 ・テスト実施計画書に基づき、テストスケジュールの作成及びテスト準備を行い、テストを実施すること。 ・実施されたテストの結果を「テスト結果報告書」を作成し、報告すること。 ・想定外のテスト結果となった場合は代替策を提示し、再度テスト実施計画を策定、再テストを実施し、全てのテストに合格すること。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト作業における実施内容、スケジュール、関係者間のデマケーションなどが具体的に示され、その内容が効率的かつ本プロジェクトに有効であると判断できる場合は加点。 	4	LAN環境の導入に係る一連のテスト内容を記載した「テスト実施計画書」を作成することを示すこと。
	<p>1.運用・監視設計、運用手順整備、運用引継ぎ</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトの内容を踏まえ、運用引継ぎ項目を整理した上で運用引継ぎに係る方針を示すこと。 ・運用設計整備に係る作業区分と役割分担に示す作業を実施すること。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用作業について、受託事業者と運用担当者が実施する作業内容が明確に区別されており、運用引継ぎとして想定される作業内容が具体的かつ工夫のある内容が示されている場合は加点とする。 ・本仕様書に示されていない運用・監視設計、運用手順整備、運用引継ぎに関する作業を示し、その必要性が認められる場合は加点とし、受託者が主担当となる提案であれば高く評価する。 ・インフラ運用事業者への引継ぎ時期や、本番切替後、運用フェーズ開始直後など、問合せや質疑応答の一時的な増加のリスクに対して、サポート体制の増強を行うなど、具体的な対応策が示されている場合は加点する。 	7	本仕様書に明記された運用フェーズにて実施される運用方針の策定及び設計に加え、実施する運用作業の手順を整備した「運用関連設計図書」を納品されることを示すこと。

評価項目	評価基準(視点)	配点	技術提案書作成にあたっての留意事項
(8)運用役務	<p>2.運用フェーズでの役務要件</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトの内容を踏まえ、機器・ソフトウェア保守・運用業務に係る基本方針を示すこと。 ・本仕様書「4.7運用・保守設計の実施」、「4.8LAN環境の保守・運用の実施」にて記載されている役務の実施方針を示すこと。 ・運用期間中に想定される運用作業のうち、発生の都度別途契約が必要となるもの、もしくは別途契約を行っても対応不可能な作業を示すこと。 ・運用・保守のコール先については、JICA関西に対する保守窓口は一ヶ所とすること。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定される運用項目のうち、通常の保守・運用役務範囲内として対応できるものが多く、JICA関西にとって経済的に有益であると判断できる場合は加点。 ・サポート内容がより具体的であり、JICA関西にとって有益であると判断できる場合は加点。 ・本仕様書に示されていない運用フェーズの役務に関する作業を示し、その必要性が認められる場合は加点とし、受託者が主担当となる提案であれば高く評価する。 ・想定される主なLAN敷設工事の作業費用が、JICA関西に経済的に有益な内容であると判断できるものであれば加点。 <p>3.運用体制</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守対応、問い合わせ対応及び障害対応を含む、運用フェーズの役務体制を示すこと。 ・通常の間合せ、緊急度の高い間合せ(障害対応等)に対する返信および対応速度に関するサービスレベルを提案すること。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務にて実施する体制、関係者間の業務デマケーション等が具体的に示され、その内容が効率的かつ本プロジェクトに有効であると判断できる場合は加点。 ・提案するサービスレベルがJICA関西にとって有益であると判断できる場合は加点。 	7	<p>本調達で導入されたLAN環境の利用が開始されて以降の運用フェーズにて、本仕様書に明記された各種役務要件を実施することを示すこと。</p>
3. 業務総括者及び評価対象となる業務従事者の経験・能力		30	<p>業務総括者及び評価対象となる業務従事者の経験・能力等(類似業務の経験、実務経験及び学位、資格等)について記述願います。</p>
(1)業務の実績・資格 ① 統括責任者	<p>1.実績・資格に求められる条件</p> <p>【必須要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.5「実績・資格に求められる条件」に記載された要件を満たすこと。 <p>【加点要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.5「実績・資格に求められる条件」にて示す実績、資格、認証、認定を社として多く有するほど加点とする。 ・プロジェクトの統括責任者、業務責任者において、概ね過去10年までの類似案件を対象として過去の類似業務(拠点LANの構築及び運用保守)がある場合は加点とし、より最近のものに対して高い評価を与える。 ・プロジェクトの統括責任者、業務責任者において、PMP(Project Management Professional)や経済産業大臣が認定するプロジェクトマネージャ試験に合格しているなど、プロジェクトを統括するうえで有用性が認められる資格を有する場合は加点とする。 ・ネットワークスペシャリスト試験、Comp TIA Network+等のネットワーク専門家としての資格を有する場合は加点する。 	10	<p>業務実施者として有する構築実績及び保有資格が示されており、類似性が高く本プロジェクトに有益であると判断できること。</p>
② 業務責任者		20	